



第4回学校運営協議会



2月15日、第4回宮原小学校学校運営協議会が行われました。今年度最後の学校運営協議会であった今回の議事内容は下記の通りでした。

◇学校評価の報告

右の4項目の観点から報告を受けました。子どもたちの成長や課題といった現状だけでなく、教職員や保護者の願いや努力を感じ取ることができるものでした。

- ①確かな学力の向上
- ②豊かな心の育成
- ③健やかな体の育成
- ④ふるさとへの愛着を育む

◇来年度の予定について

令和6年度のおもな学校行事および、宮原小学校の文成中学校校舎への移転作業について報告を受けました。

地域の方々とのふれあい

おでんパーティー〔5年生〕

2学期末、ジャガイモや大根の栽培に協力してくださった“おいやんクラブ”の方々を、5年生児童がお招きし、感謝の気持ちをこめておでんパーティーを行いました。大人も子どもも、できあがったおでんを和気あいあいとほおばり、楽しそうに話しながら時間を過ごしていました。おかわりを繰り返す子どもいて、野菜が苦手だった子にも、食の楽しさや大切さを感じることでできる機会になったのではないのでしょうか。



昔遊びの名人になろう!〔1年生〕

生活科の授業で実施した体験学習に、老人会の方々に来ていただき、昔遊びの技やそのこつを学びました。おじいさんやおばあさんと、1年生の子どもたちとのふれあいに心が和みました。



七輪体験〔3年生〕

社会科の学習で、七輪体験を行いました。11名の地域の方がゲストティーチャーとして参加してくださり、子どもたちにマッチのすり方や火のおこし方、七輪の使い方などを教えてくださいました。コロナ禍以来、6年ぶりに行うことができ、子どもたち、地域の方々ともに楽しい時間を過ごすことができ、焼き上がったおもちを、皆でおいしくいただきました。



篠笛発表会〔4・5・6年篠笛クラブ〕

宮原小学校には、篠笛クラブがあります。4・5・6年生のクラブに所属する子どもたちが、活動のたびに、芸能保存会の方々に指導してもらってきました。最初は音を出すことさえ難しかった子どもが多かったのですが、忍耐強く練習を積み重ね、2月に行った朝礼での発表会では、どの子も上達した演奏を聞かせてくれました。演奏した子どもたちの喜びはもとより、芸能保存会の方々の喜びもひとしおでした。



学校運営協議会の中でも、校長先生から、子どもたちが地域の方々とのふれあいにより学ぶことの意義や、その成果の大きさを感じたこと、今後もこのような機会を持ち続けたいという思いを聞かせていただきました。

一年を通して、私たち学校運営協議会は、宮原小学校の子どもたちの活動に関わり、子どもたちの成長を見守って参りました。今後も保護者、学校、地域が手を携えて、宮原の子どもたちの活動をサポートしていきたいと考えています。今だけを見るのではなく、未来に希望や自信を持ってたくましく成長する子どもたちの姿を願い、今後も活動を続けて参りたいと思います。ご協力ありがとうございました。